

## 簡易操作マニュアル (Advance II.im)

### AMPIScreen™ Assay on Celsis Advance II™ Luminometers

こちらは参照用の簡易操作マニュアルです。このシステムに関してお客様の会社で確立された company-specific Standard Operating Procedures (SOPs) がある場合は、そちらに従って操作してください。

#### DAY 1



#### サンプルの準備

- 99mL の培地 (SCDLP、TAT、Lethen 等) に 1g のサンプルを加えます。
- 少なくとも 200-250 rpm で攪拌可能なシェーカー上でサンプルをインキュベートします。(30-32°C)。  
培養時間の目安：細菌…18 – 24 時間、酵母・カビ…24 – 48 時間

#### DAY 2

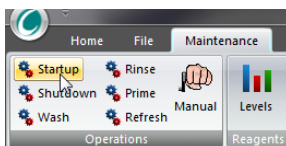


#### AMPIScreen™ 測定試薬の準備

- 冷蔵庫から試薬を取り出します。
  - **Celsis LuminATE™ (黄)** – 1 bottle の Celsis LuminATE Buffer 全量を 1 vial の Celsis LuminATE に入れ、穏やかに混合します。機器に取り付ける前に、調整した LuminATE を室温で 15 分間静置します。
  - **Celsis LuminEX™ (緑)** – Celsis LuminEX は室温で使用可能です。
  - **Celsis LuminAMP (赤)** – Celsis LuminAMP は室温で使用可能です。
  - **ATP Positive Control** – 1 vial の ATP Buffer 全量を 1 vial の ATP positive Control に入れ、混合します。溶液はすぐに使用可能です。使用しない ATP Positive Control は 0.5mL ずつ分注後冷凍し、テスト毎に新鮮なものを使用します。(冷凍した ATP Positive Control は使用前によく混合してください。余った溶液は廃棄して再凍結しないでください。)



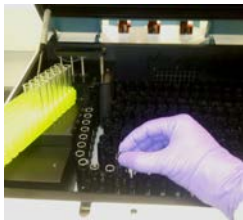
Luminometer Tray



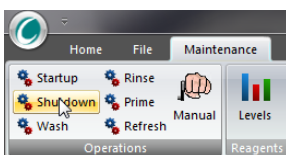
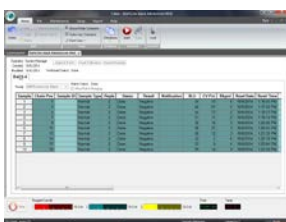
#### Advance II™ 機器のセットアップ

- **Washing**
  - Advance II の電源を入れます。
  - パソコンの電源を入れ、"Advance II.im" ソフトウェアを起動してログインします。
  - 画面上部のメニューバーから "**Maintenance**" を選択します。
  - Operations リボンメニューボックスから "**Startup**" を選択すると、Startup sequence の初期画面が表示されます。
  - Reagent Injector Position は "**All**" を選択し、"**Next**" でプライミングを開始します。
  - 9 本の Priming cuvettes (#CLS1280052) を 間隔開けずに機械にセットし、"**Next**" を選択します。
  - Washing Solution を injector 1、2 および 3 に取り付け、"**Next**" を選択します。  
(通常、待機時は Washing Solution が取り付けられています。)
- **Rinsing**
  - Rinsing Solution を injector 1、2 および 3 に取り付け、"**Next**" を選択します。
- **Priming**
  - 3 種類の Reagent を適切な位置に取り付けます (各ボトルと injector の色は、分かりやすいように合わせています)。取り付けたら "**Next**" を選択します。
  - 各試薬の残量を入力します。おおよその容量は各ボトルのラベルに記載されています。入力を終えたら "**Next**" を選択します。
  - プライミングが終了したら "**Close**" を選択します。
  - 機械からキュベットを取り出します。

※ 詳細は"英語版 操作マニュアル"をご参照ください。



Workload Tab



### Advance II™ の日常管理 (Daily Control)

- システム使用前に以下のステップに従って "daily control" を実施することが重要です。
  - **Instrument Blank control** : 空のキュベットを 2 本入れ、1 本分のスペースを空けます。
    - カットオフ値 : 100 RLU 以内
  - **Reagent Blank control** : 空のキュベットを 2 本入れ、1 本分のスペースを空けます。
    - カットオフ値 : 1000 RLU 以内
  - **ATP Positive Control** : 50µL の ATP Positive Control を入れたキュベットを 2 本入れます。
    - カットオフ値 : 50,000 RLU 以上
- *注意: ATP Positive Control は解凍後、キュベットに添加前によく混ぜることが重要です*
- 機器の蓋を締めます。
- 画面トップのメニューバーの "Home" から、Routine リボンメニューボックスの "Scan" を選択します。
- 測定するバッチ数・本数が表示され、問題がなければ "Next" を選択します。
- 以下の様に Assay type を定義づけます。
  - Batch A: **Instrument Blank** を選択し、**Next** をクリックします。
  - Batch B: **Reagent Blank** を選択し、**Next** をクリックします。
  - Batch C: **ATP Positive Control** を選択し、**Next** をクリックします。
- 必要に応じて、user editable fields にデータを入力します。
- "Home" から、Routine リボンメニューボックスの "Start" を選択します。
- 解析前にプログラムから workload を保存するように促されますので、名前を付けて保存します。
- Workload を保存後、測定が開始されます。解析結果は workload tab に表示されます。
- 解析が終了したらファイルを保存します。
- すべてのキュベットを機械から取り出し、廃棄します。
- 3 種類のコントロールがすべて規定の範囲内に入っているか確認します。

### カビを測定時の前処理

- 100mL の培養液に対し 10g の glass beads と 100µL の antifoam (消泡剤) を添加します。
- 左図のようにリニアシェーカーに培養ボトルをセットし、少なくとも 30 分間振とうさせます。

### AMPiScreen による測定

- Advance cuvettes (#CLS1280139) 2 本に Negative broth control を各 50µL 入れます。
- 培養したサンプルを各 50µL、それぞれ 2 本の Advance cuvettes に入れていきます
- 機械にサンプルを並べます。先頭に Negative broth control を 2 本配置し、以降培養したサンプルを配置します。
- 機械の蓋を閉めます。
- "Home" から、Routine リボンメニューボックスの "Scan" を選択します。
- Scan Summary が表示されたら "Next" を選択します。
- すべての Assay type を "AMPiScreen assay" に定義づけます。
- 必要に応じて、user editable fields にデータを入力します。
- トップのメニューバーにある "Home" から、ルーチンリボンのメニューボックスにある "Start" をクリックします。
- 解析前にプログラムから workload を保存するように促されますので、名前を付けて保存します。
- Workload を保存後、測定が開始されます。解析結果は workload tab に表示されます。
- 解析が終了したらファイルを保存します。
- すべてのキュベットを機械から取り出し、廃棄します。

### 測定結果

- 測定結果はインストール時に定義された基準に基づき、自動的に分析されます。
- 通常、broth blank control の RLU 値の 3 倍以上が Positive と判定されます。

### Advance II™ インジェクターのシャットダウン

- **Rinsing**
  - 画面トップのメニューバーから "Maintenance" を選択します。
  - Operations リボンメニューボックスから "Shutdown" を選択します。
  - Reagent Injector Position は "All" を選択し、"Next" をクリックします。
  - 機械にキュベット 6 本を間隔開けずに並べ、"Next" をクリックします。
  - Rinsing Solution を injector 1、2 および 3 に取り付け、"Next" をクリックします。
  - 各溶液の残量は、画面の下部に表示されます。
- **Washing**
  - Washing Solution を injector 1、2 および 3 に取り付け、"Next" をクリックします。
  - Washing が終了したら、"Close" を選択します。
  - すべてのキュベットを機械から取り出し、廃棄します。

※ 詳細は "英語版 操作マニュアル" をご参照ください。

**株式会社ベリタス**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-7-14 八洲ビル  
TEL 03-3593-3211 FAX 03-3593-3216

技術的なお問い合わせは：TEL 03-3593-3385 E-mail [techservice@veritastk.co.jp](mailto:techservice@veritastk.co.jp)